

サンジールバー市川だより

早いもので7月となり、1年の半分が過ぎました。七夕の笹に、たくさん願い事が揺れています。短冊に書いたご利用者様や職員一人ひとりの願いや思いが夏の夜空に届き、一日も早く平和な日常が戻って来ることを心から願わずにはられません。

ワクチン接種が進んでいます。一方でコロナ感染者の増加に歯止めがかからず、感染力の強いデルタ株の感染者も増えています。自分の周りの大切な人を守るため、何よりも自分が健康で楽しい人生を送るためにも感染しないよう、基本的な感染予防を徹底していきましょう。



★RSウイルス感染症に注意

近隣の保育園等でRSウイルス感染症が流行しています。今年の患者数は、一昨年に比べるとおよそ8倍、昨年との比較ではおよそ200倍に当たるようです。乳幼児だけでなく、高齢者施設では集団感染しやすい、高齢者が感染すると肺炎の誘発や基礎疾患の重症化に繋がります。飛沫感染と接触感染で広がりますので、基本的な感染予防をしっかり行うことが重要です。鼻水等風邪に似た症状がある場合は、早めに受診をしてください。



★豪雨災害に注意！ ハザードマップは必読書

気象庁は6月17日から線状降水帯の発生状況の提供を始めました。線状降水帯が発生した場合、その地域はとても危険な状態にあるため、近年の豪雨災害による被害を重く受け止めての取り組みです。

まずは自宅や自宅付近の水害のリスクをハザードマップで確認しておきましょう。

ハザードマップは「予言書」、浸水想定と実際に浸水した場所は大部分が一致しているとのこと。市役所で入手できるほか、自治体のホームページからも確認できます。

通勤時を含めていざという時、あわてずに安全な場所に避難できるようにしておくと命を守るためにも大切です。

施設に浸水してきた時は、1階にいるご利用者様は3階に避難していただきますよう。高齢者等避難準備開始が発令されますが、停電の恐れもあります。命を守るため、職員



の早めの判断と対応が必須です。濡れてはいけない書類やパソコン、薬等の医薬品も濡れない場所に持ち出せるように、日頃からもしもの時に備えておきましょう。

20世紀の社会 災害は忘れた頃にやってくる
21世紀の社会 災害は忘れず必ずやってくる
想定外のことでも考えておく必要があります。

★介護職に必要な心がまえ

- ① 気持ちと時間にゆとりをもって出勤し、始業前に業務を把握しましょう。
- ② 身だしなみを整え、親しみやすい表情を心がけ、気持ちのよい挨拶をしましょう。
- ③ 職場にいる時は、誰にでも丁寧で話すようにしましょう。
- ④ 大切なことや伝えるべきこと、小さな不安や曖昧なことなどは報告・連絡・相談を心がけ、トラブル回避のため質問や確認を怠らないことを習慣化しましょう。
- ⑤ 常に自分を高める意識を持ちましょう。
- ⑥ 事故が起きる要因や環境を把握し、事故を未然に防ぐ努力をしていきましょう。
- ⑦ シクリエーションの目的や効果について理解し、楽しみへの支援を積極的に行っていきましょう。
- ⑧ 個人情報保護を厳守してください。職場で知り得た情報を施設外で話すことがないようにしましょう。
- ⑨ 健康管理を怠らず、コロナ禍の今、基本的な感染予防を徹底しましょう。

★節電を心がけましょう

夏に最も電力を消費するのはエアコンです。更衣室や休憩室など誰もいない時は、エアコンのスイッチを切っておきましょう。

編集後記

短冊に願いを込めます。明けない夜もやまない雨もありません。今コロナ禍を支えてくださっている全ての人々に感謝し、今頑張れることをみんなで頑張っていきたいと思います。介護部長

